
「完全房室ブロックを合併し恒久的ペースメーカを植え込んだ経カテーテル的大動脈弁置換術後患者に関して自己拡張型弁とバルーン拡張型弁の違いによる心室ペーシング率の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの CT 画像データを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2016 年 01 月 01 日から 2024 年 12 月 31 日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター】を受診し、大動脈弁狭窄症と診断され、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

TAVI 術後に完全房室ブロック(CAVB)を合併し恒久的ペースメーカ(PM)を植え込んだ患者の特徴を明らかにし、患者に対して有効的な PM 治療を検討する。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 03 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2024 年 01 月 01 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である福岡 祐が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

大動脈弁置換術と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた CT 画像データ、検査データ、PM データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部 福岡 祐（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：完全房室ブロックを合併し恒久的ペースメーカを植え込んだ
経カテーテル的大動脈弁置換術後患者に関して

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター ME サービス部 福岡 祐

電話番号：042-984-4111(内線：7561)